

看護学専攻
【博士前期課程】

履修・学位
博士前期課程

1. 履修指導の概要

本研究科に入学する学生は、出願の段階で専攻分野と研究指導教員を選択する。研究指導教員は、学生 1 人ひとりの志望動機、関心分野、実務経験、学問的知識など学生本人と協議検討し、専攻分野ごとあるいは個別に履修指導を行う。研究指導教員は、個々の学生に対して研究指導の責任を負い、学生の研究課題を解明する過程を指導し、研究の実施、修士論文の作成、発表を支援する。

他のすべての科目担当教員は、学生の研究課題解明に必要とされる相談に応じる。また、教員はそれぞれの専門性を生かしたシラバスを準備し、学生が自己の研究課題解明につなげられ、選択できるようにする。さらに、学生の研究への興味や関心を喚起できるような授業形態をとりいれる。これらにより学生への医療看護学への学問好奇心を涵養し、研究の進展に資することを可能とする。

2. 研究指導方法・学位論文審査体制

研究指導教員は学生が修士の学位を円滑に取得できるよう、次の通り論文作成指導を行う。

- (1) 学生は、研究指導教員の指導を受けて修士論文のテーマを決定し、大学院修了予定年度の 5 月上旬までに「修士論文研究計画書」を提出する。研究計画書は、問題の起案とそれに至った根拠、研究方法等を所定の用紙 3 枚程度にまとめ、表紙をつけたものとする。
- (2) 論文テーマは研究科委員会によって審査承認される。
- (3) 学生は論文（特別研究及び課題研究）を修了予定年度の 1 月上旬の指定日までに、提出する必要がある。論文を提出し学位を受けようと希望するものは、所定の単位を取得していることが条件となる。
- (4) 提出された論文は、論文審査委員 3 名の審査を受け、2 月上旬に最終論文として提出する。主査は、研究科委員会あてに所定の修士論文審査報告書を提出する。最終試験（口頭試問）は公開とし、発表者は所定の時間内で論文の内容を説明した後、質問を受ける。なお論文審査委員は研究科内外から 3 名を人選し（主査は研究指導教員以外）、研究科委員会にて決定する。
- (5) 審査委員は最終試験終了後、論文審査報告書を研究科委員会において研究科長へ提出する。主査は審査内容を報告し、研究科委員会構成員及び該当する学位論文の主査・副査による可否投票により、出席者の 3 分の 2 以上の「可」票を持って合格と認定する。

3. 単位修得・修了要件

修了の要件は、本研究科に 2 年以上在学し、30 単位以上修得することとする。

単位修得の認定は履修状況・試験・レポート・研究報告等により行う。成績評価は原則として A（優：80 点以上）、B（良：70 点以上）、C（可：60 点以上）、D（不可：60 点未満）の 4 段階で評価し研究科委員会で合否を認定する。

- (1) 共通科目の中で、看護学研究方法論 2 単位、応用統計学 2 単位の必修 4 単位を含み 8 単位以上を履修する。
- (2) 専門科目の中から専攻分野を中心に 10 単位以上を履修する。
- (3) 演習・研究指導から演習 4 単位・特別研究 6 単位（または課題研究 4 単位）の 8 単位以上を履修する。
- (4) 専門看護師の認定を目標にしている学生は、該当分野に最低限必要な単位数を履修する。
- (5) 修士の学位を取得するためには、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。研究科委員会は学位授与を可とした者について、学長に報告し、学長は「修士（看護学）」の学位を大学院修了式において授与する。

4. 学位論文審査基準

<特別研究論文>

- ①先行研究に関するレビューは適切か。
- ②問題意識が明確でテーマ設定は適切か。
- ③テーマに見合った方法論が選択されているか。
- ④与えられた情報や仮定から、適切に結論が導かれているか。
- ⑤明解性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか。
- ⑥文章力・読解力・自己表現力、探究心、批判的思考力等はあるか。
- ⑦自身の論文について、テーマ設定・データ収集・推論・結論の導出の過程を説明できるか。

<課題研究論文>

- ①問題意識が明確でテーマ設定は適切か。
- ②テーマに見合った方法論が選択されているか。
- ③与えられた情報や仮定から、結論を導き出す過程に問題点は見られないか。
- ④明解性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか。
- ⑤文章力・読解力・自己表現力があるか。

履修及び論文作成のプロセス

学年	時期		学生	研究指導教員 論文審査委員	研究科委員会
1年	4月	上旬	研究指導教員に履修計画相談	履修指導	
		中旬	履修登録		
		下旬			履修登録状況報告
	10月	上旬	研究指導教員に研究テーマ・論文作成方法相談	研究指導	
		上旬	修士論文研究計画書受付開始		
2年	4月	中旬	履修登録	履修指導 研究指導	
	5月	上旬	修士論文研究計画書最終提出期限		計画書審査最終
		中旬 ～下旬	研究計画発表会		
	6月	上旬		論文審査委員 希望届提出	
		中旬			論文審査委員決定
	1月	上旬	学位論文審査願及び修士論文第一次提出		
		上旬 ～中旬		論文審査・指導	
	2月	上旬	修士論文最終提出		
		上旬 ～中旬	口頭試問期間	口頭試問	
	3月	上旬		論文審査報告書提出	最終審査会
		上旬 ～中旬	修士論文発表会		
		中旬	修了式(学位授与式)		

履修モデル－特別研究コース－

区分	科目名	配当年次	看護教育学分野	看護管理学分野	臨床病態学分野	慢性看護学分野	小児看護学分野	高齢者看護学分野	地域看護学分野	精神看護学分野	看護学分野 感染制御	ウイメンズヘルス 看護学分野	在宅看護学分野	がん・クリ ティカルケア 看護学分野		単位数
														がん	クリ ティ ケ ア	
共通科目	1010 看護学研究方法論	1前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2
	1020 応用統計学	1前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2
	1030 看護理論特論	1・2後	○				○			○	○					2
	1040 看護倫理特論	1・2前	○		○		○	○		○	○	○		○	○	2
	1050 コンサルテーション論	1・2後	○	○		○					○			○	○	2
	1060 家族関係論	1・2後					○					○	○		○	2
	1070 看護行政政策論	1・2後		○		○			○	○						2
	1080 国際保健論	1・2前								○						2
	1090 高度先端医療・医科学特論	1・2前														2
	1100 保健医療連携特論	1・2後				○		○						○		2
	1110 福祉特論	1・2前														2
	1120 医療情報論	1・2後														2
	1130 機能病態学特論	1・2後														2
	1140 健康科学特論	1・2前														2
	1150 医療経済特論	1・2後		◎												2
	1160 臨床薬理学	1・2後			○											2
	1170 医療英語	1・2通														2
	1180 医療看護学特別講義	1・2通								○			○			2
	1190 リサーチトピックス - M	1～2														2
	2011 看護教育学特論Ⅰ(基礎・継続教育)	1・2前	◎	○	○		○			○	○	○		○	○	2
	2012 看護教育学特論Ⅱ(CNS)	1・2後														2
	2013 看護技術開発学特論	1・2後	○	○							○					2
	2021 看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	1・2前	○	◎	○	○		○						○		2
	2022 看護管理学特論Ⅱ(人的資源管理論)	1・2後	○	◎												2
	2030 フィジカルアセスメント特論	1・2前	○	○	◎						○	○	○	○		2
	2151 慢性看護学特論Ⅰ(慢性病看護論)	1・2前			○	◎			○					○		2
	2152 慢性看護学特論Ⅱ(慢性病療養支援論A)	1・2前				◎										2
	2153 慢性看護学特論Ⅲ(慢性病療養支援論B)	1・2後				○			○							2
	2154 慢性看護学特論Ⅳ(慢性病療養システム論)	1・2前				○										2
	2155 慢性看護学特論Ⅴ(慢性病病態・治療論)	1・2後														2
	2046 慢性看護学実習Ⅰ(CNS役割実習)	1後														2
	2047 慢性看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2前														2
	2048 慢性看護学実習Ⅲ(統合実習)	2前														6
	2051 ウイメンズヘルス看護学特論Ⅰ(ウイメンズヘルス概論)	1・2前											◎			2
	2052 ウイメンズヘルス看護学特論Ⅱ(周産期ケア概論)	1・2前											◎			2
	2053 ウイメンズヘルス看護学特論Ⅲ(ウイメンズヘルスケア概論)	1・2前														2
	2054 ウイメンズヘルス看護学特論Ⅳ(女性のヘルスプロモーション)	1・2後														2
	2055 ウイメンズヘルス看護学特論Ⅴ(ウイメンズヘルスケアシステム論)	1・2後														2
	2056 ウイメンズヘルス看護学実習Ⅰ(CNS役割実習)	2前														2
	2057 ウイメンズヘルス看護学実習Ⅱ(女性の健康問題支援実習)	2前														4
	2058 ウイメンズヘルス看護学実習Ⅲ(統合実習)	2通														4
	2061 小児看護学特論Ⅰ(小児看護対象論)	1・2前						◎								2
	2062 小児看護学特論Ⅱ(小児サポートシステム論)	1・2前						◎								2
	2063 小児看護学特論Ⅲ(小児援助方法論)	1・2前						◎								2
	2064 小児看護学特論Ⅳ(小児高度看護実践論)	1・2後														2
	2065 小児看護学特論Ⅴ(小児疾病病態論)	1・2後														2
2066 小児看護学実習Ⅰ(CNS役割・機能実習)	1後														2	
2067 小児看護学実習Ⅱ(小児診断・治療実習)	2前														2	
2068 小児看護学実習Ⅲ(統合実習)	2前														6	
2071 地域看護学特論Ⅰ(公衆衛生看護学原論)	1・2前						○		◎				○		2	
2072 地域看護学特論Ⅱ(公衆衛生看護学活動論)	1・2後								◎						2	

区分	科目名	配当年次	看護教育学分野	看護管理学分野	臨床病態学分野	慢性看護学分野	小児看護学分野	高齢者看護学分野	地域看護学分野	精神看護学分野	看護学分野 感染制御	ウイメンズヘルス 看護学分野	在宅看護学分野	がん・クリティカルケア 看護学分野		単位数
														がん	クリティカルケア	
専門科目	2081	在宅看護学特論Ⅰ(在宅ケアマネジメント論)	1・2前										◎			2
	2082	在宅看護学特論Ⅱ(在宅看護アセスメント論)	1・2前										◎			2
	2083	在宅看護学特論Ⅲ(在宅看護援助論)	1・2前													2
	2084	在宅看護学特論Ⅳ(在宅医療ケア論)	1・2後													2
	2085	在宅看護学特論Ⅴ(訪問看護管理論)	1・2後													2
	2086	在宅看護学実習Ⅰ(在宅ケアマネジメント実習)	1・2通													2
	2087	在宅看護学実習Ⅱ(在宅高度実践看護実習)	1・2通													6
	2088	在宅看護学実習Ⅲ(訪問看護管理実習)	2通													2
	2091	精神看護学特論Ⅰ(精神医療福祉論)	1・2前								◎					2
	2092	精神看護学特論Ⅱ(精神評価方法論)	1・2前								◎					2
	2093	精神看護学特論Ⅲ(治療方法論)	1・2前								◎					2
	2094	精神看護学特論Ⅳ(援助支援論)	1・2後								◎					2
	2095	精神看護学特論Ⅴ(リエゾン精神看護論)	1・2後													2
	2096	精神看護学実習Ⅰ(役割実習)	2前													1
	2097	精神看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2前													2
	2098	精神看護学実習Ⅲ(統合実習)	2通													7
	2101	がん看護学特論Ⅰ(がん病態看護論)	1・2前			○									◎	2
	2102	がん看護学特論Ⅱ(がん看護理論)	1・2前												◎	2
	2103	がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)	1・2前												◎	2
	2104	がん看護学特論Ⅳ(がん薬物療法看護論)	1・2後													2
	2105	がん看護学特論Ⅴ(がん緩和ケア論)	1・2後													2
	2106	がん看護学実習Ⅰ(CNS役割実習)	2前													2
	2107	がん看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2通													2
	2108	がん看護学実習Ⅲ(統合実習)	2通													6
	2111	感染看護学特論Ⅰ(感染症制御論)	1・2前			○						◎				2
	2112	感染看護学特論Ⅱ(感染予防・マネジメント論)	1・2前									◎				2
	2113	感染看護学特論Ⅲ(感染症診断・病態論)	1・2前												○	2
	2114	感染看護学特論Ⅳ(感染症看護支援論)	1・2後													2
	2115	感染看護学特論Ⅴ(感染症制御システム論)	1・2後													2
	2116	感染看護学実習Ⅰ(感染看護高度実践/感染対策実習)	2通													6
	2117	感染看護学実習Ⅱ(感染症診断実習)	2通													2
	2118	感染看護学実習Ⅲ(地域感染予防実習)	2通													2
	2121	高齢者看護学特論Ⅰ(高齢者看護学原論)	1・2前						◎	○				○		2
2122	高齢者看護学特論Ⅱ(アセスメント論)	1・2前						◎							2	
2123	高齢者看護学特論Ⅲ(支援システム論)	1・2前						○							2	
2124	高齢者看護学特論Ⅳ(急性期ケア論)	1・2後						○							2	
2125	高齢者看護学特論Ⅴ(認知症看護論)	1・2後						○							2	
2126	高齢者看護学実習Ⅰ(認知症看護実習)	2通													6	
2127	高齢者看護学実習Ⅱ(急性期看護実習)	2通													4	
2141	クリティカルケア看護学特論Ⅰ(対象論)	1・2前													◎	2
2142	クリティカルケア看護学特論Ⅱ(アセスメント論)	1・2前													○	2
2143	クリティカルケア看護学特論Ⅲ(治療管理論)	1・2前													○	2
2144	クリティカルケア看護学特論Ⅳ(看護援助論A)	1・2前													◎	2
2145	クリティカルケア看護学特論Ⅴ(看護援助論B)	1・2後													○	2
2146	クリティカルケア看護学実習Ⅰ(実践実習)	1後														2
2147	クリティカルケア看護学実習Ⅱ(統合実習)	2通														8
研究指導	3000	演習	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	4
	4000	特別研究	1～2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	6
		課題研究	1～2													4
単位数				30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	36	

◎:必修・選択必修(主専攻分野必修) ○:選択推奨

共通科目から必修4単位を含み8単位以上、専門科目から10単位以上、演習・研究指導から必修4単位を含み8単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士の学位論文または課題研究論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

履修モデル－高度実践看護師（専門看護師）コース－

区分	科目名	配当年次	専攻慢性的看護課程	専攻母性看護課程	専攻小児看護課程	専攻在宅看護課程	専攻精神看護課程	専攻がん看護課程	専攻感染看護課程	専攻老年看護課程	看護クリティカルケア専攻教育課程	CNS		単位数	
												共通	単位		
共通科目	1010	看護学研究方法論	1前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	共A	2	2
	1020	応用統計学	1前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			2
	1030	看護理論特論	1・2後	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	共A	2	2
	1040	看護倫理特論	1・2前	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	共A	2	2
	1050	コンサルテーション論	1・2後	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	共A	2	2
	1060	家族関係論	1・2後												2
	1070	看護行政政策論	1・2後	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	共A	2	2
	1080	国際保健論	1・2前												2
	1090	高度先端医療・医科学特論	1・2前												2
	1100	保健医療連携特論	1・2後												2
	1110	福祉特論	1・2前												2
	1120	医療情報論	1・2後												2
	1130	機能病態学特論	1・2後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	共B	2	2
	1140	健康科学特論	1・2前												2
	1150	医療経済特論	1・2後												2
	1160	臨床薬理学	1・2後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	共B	2	2
	1170	医療英語	1・2通												2
	1180	医療看護学特別講義	1・2通												2
	1190	リサーチトピックス－M	1～2												2
	2011	看護教育学特論Ⅰ(基礎・継続教育)	1・2前												2
	2012	看護教育学特論Ⅱ(CNS)	1・2後	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	共A	2	2
	2013	看護技術開発学特論	1・2後												2
	2021	看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	1・2前	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	共A	2	2
	2022	看護管理学特論Ⅱ(人的資源管理論)	1・2後												2
	2030	フィジカルアセスメント特論	1・2前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	共B	2	2
	2151	慢性看護学特論Ⅰ(慢性病看護論)	1・2前	●										2	2
	2152	慢性看護学特論Ⅱ(慢性病療養支援論A)	1・2前	●										2	2
	2153	慢性看護学特論Ⅲ(慢性病療養支援論B)	1・2後	●										2	2
	2154	慢性看護学特論Ⅳ(慢性病療養システム論)	1・2前	●										2	2
	2155	慢性看護学特論Ⅴ(慢性病病態・治療論)	1・2後	●										2	2
	2046	慢性看護学実習Ⅰ(CNS役割実習)	1後	●										2	2
	2047	慢性看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2前	●										2	2
	2048	慢性看護学実習Ⅲ(統合実習)	2前	●										6	6
	2051	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅰ(ウイメンズヘルス概論)	1・2前		●									2	2
	2052	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅱ(周産期ケア概論)	1・2前		●									2	2
	2053	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅲ(ウイメンズヘルスケア概論)	1・2前		●									2	2
	2054	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅳ(女性のヘルスプロモーション)	1・2後		●									2	2
	2055	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅴ(ウイメンズヘルスケアシステム論)	1・2後		●									2	2
	2056	ウイメンズヘルス看護学実習Ⅰ(CNS役割実習)	2前		●									2	2
	2057	ウイメンズヘルス看護学実習Ⅱ(女性の健康問題支援実習)	2前		●									4	4
	2058	ウイメンズヘルス看護学実習Ⅲ(統合実習)	2通		●									4	4
	2061	小児看護学特論Ⅰ(小児看護対象論)	1・2前			●								2	2
	2062	小児看護学特論Ⅱ(小児サポートシステム論)	1・2前			●								2	2
	2063	小児看護学特論Ⅲ(小児援助方法論)	1・2前			●								2	2
	2064	小児看護学特論Ⅳ(小児高度看護実践論)	1・2後			●								2	2
	2065	小児看護学特論Ⅴ(小児疾病病態論)	1・2後			●								2	2
	2066	小児看護学実習Ⅰ(CNS役割・機能実習)	1後			●								2	2
2067	小児看護学実習Ⅱ(小児診断・治療実習)	2前			●								2	2	
2068	小児看護学実習Ⅲ(統合実習)	2前			●								6	6	
2071	地域看護学特論Ⅰ(公衆衛生看護学原論)	1・2前												2	
2072	地域看護学特論Ⅱ(公衆衛生看護学活動論)	1・2後												2	

区分	科目名	配当 年次	専 攻 教 育 課 程	慢 性 看 護 課 程	専 攻 教 育 課 程	小 児 看 護 課 程	専 攻 教 育 課 程	専 攻 教 育 課 程	専 攻 教 育 課 程	専 攻 教 育 課 程	専 攻 教 育 課 程	専 攻 教 育 課 程	専 攻 教 育 課 程	ク リ テ ィ カ ル ケ ア 看 護 専 攻 教 育 課 程	CNS		単 位 数
															共 通	単 位	
専 門 科 目	2081	在宅看護学特論Ⅰ(在宅ケアマネジメント論)	1・2前				●									2	2
	2082	在宅看護学特論Ⅱ(在宅看護アセスメント論)	1・2前				●									2	2
	2083	在宅看護学特論Ⅲ(在宅看護援助論)	1・2前				●									2	2
	2084	在宅看護学特論Ⅳ(在宅医療ケア論)	1・2後				●									2	2
	2085	在宅看護学特論Ⅴ(訪問看護管理論)	1・2後				●									2	2
	2086	在宅看護学実習Ⅰ(在宅ケアマネジメント実習)	1・2通				●									2	2
	2087	在宅看護学実習Ⅱ(在宅高度実践看護実習)	1・2通				●									6	6
	2088	在宅看護学実習Ⅲ(訪問看護管理実習)	2通				●									2	2
	2091	精神看護学特論Ⅰ(精神医療福祉論)	1・2前					●								2	2
	2092	精神看護学特論Ⅱ(精神評価方法論)	1・2前					●								2	2
	2093	精神看護学特論Ⅲ(治療方法論)	1・2前					●								2	2
	2094	精神看護学特論Ⅳ(援助支援論)	1・2後					●								2	2
	2095	精神看護学特論Ⅴ(リエゾン精神看護論)	1・2後					●								2	2
	2096	精神看護学実習Ⅰ(役割実習)	2前					●								1	1
	2097	精神看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2前					●								2	2
	2098	精神看護学実習Ⅲ(統合実習)	2通					●								7	7
	2101	がん看護学特論Ⅰ(がん病態看護論)	1・2前						●							2	2
	2102	がん看護学特論Ⅱ(がん看護理論)	1・2前						●							2	2
	2103	がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)	1・2前						●							2	2
	2104	がん看護学特論Ⅳ(がん薬物療法看護論)	1・2後						●							2	2
	2105	がん看護学特論Ⅴ(がん緩和ケア論)	1・2後						●							2	2
	2106	がん看護学実習Ⅰ(CNS役割実習)	2前						●							2	2
	2107	がん看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2通						●							2	2
	2108	がん看護学実習Ⅲ(統合実習)	2通						●							6	6
	2111	感染看護学特論Ⅰ(感染症制御論)	1・2前							●						2	2
	2112	感染看護学特論Ⅱ(感染予防・マネジメント論)	1・2前							●						2	2
	2113	感染看護学特論Ⅲ(感染症診断・病態論)	1・2前							●						2	2
	2114	感染看護学特論Ⅳ(感染症看護支援論)	1・2後							●						2	2
	2115	感染看護学特論Ⅴ(感染症制御システム論)	1・2後							●						2	2
	2116	感染看護学実習Ⅰ(感染看護高度実践/感染対策室実習)	2通							●						6	6
	2117	感染看護学実習Ⅱ(感染症診断実習)	2通							●						2	2
	2118	感染看護学実習Ⅲ(地域感染予防実習)	2通							●						2	2
	2121	高齢者看護学特論Ⅰ(高齢者看護学原論)	1・2前										●			2	2
	2122	高齢者看護学特論Ⅱ(アセスメント論)	1・2前										●			2	2
	2123	高齢者看護学特論Ⅲ(支援システム論)	1・2前										●			2	2
2124	高齢者看護学特論Ⅳ(急性期ケア論)	1・2後										●			2	2	
2125	高齢者看護学特論Ⅴ(認知症看護論)	1・2後										●			2	2	
2126	高齢者看護学実習Ⅰ(認知症看護実習)	2通										●			6	6	
2127	高齢者看護学実習Ⅱ(急性期看護実習)	2通										●			4	4	
2141	クリティカルケア看護学特論Ⅰ(対象論)	1・2前											●		2	2	
2142	クリティカルケア看護学特論Ⅱ(アセスメント論)	1・2前											●		2	2	
2143	クリティカルケア看護学特論Ⅲ(治療管理論)	1・2前											●		2	2	
2144	クリティカルケア看護学特論Ⅳ(看護援助論A)	1・2前											●		2	2	
2145	クリティカルケア看護学特論Ⅴ(看護援助論B)	1・2後											●		2	2	
2146	クリティカルケア看護学実習Ⅰ(実践実習)	1後											●		2	2	
2147	クリティカルケア看護学実習Ⅱ(統合実習)	2通											●		8	8	
研 究 指 導	3000	演習	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	4	
	4000	特別研究	1～2													6	
		課題研究	1～2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		4	
	単位数			44	44	44	44	44	44	44	44	44	44				
	CNS単位数			38	38	38	38	38	38	38	38	38	38				

◎:必修・選択必修(主専攻分野必修) ○:選択、●:CNS必修、☆:CNS選択必修(3科目以上選択) CNS単位数は予定

共通科目から必修4単位を含み8単位以上、専門科目から10単位以上、演習・研究指導から必修4単位を含み8単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士の学位論文または課題研究論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

医療看護学研究科 博士前期課程 ディプロマポリシーと各授業科目との関連

コード	授業科目	特に該当するディプロマポリシー		
		1.看護学の専門分野に関する研究に高い倫理観をもって取り組む研究能力	2.高度な専門性を発揮するために必要な広範な知識を体系化し、質の高い看護ケアが実践できる能力	3.高度な看護実践、研究・教育活動を通して国際的・社会的に貢献できる能力
1010	看護学研究方法論	○		
1020	応用統計学	○		
1030	看護理論特論	○		
1040	看護倫理特論	○		
1050	コンサルテーション論	○		
1060	家族関係論	○		
1070	看護行政政策論	○		
1080	国際保健論	○		
1090	高度先端医療・医科学特論	○		
1100	保健医療連携特論	○		
1110	福祉特論	○		
1120	医療情報論	○		
1130	機能病態学特論	○		
1140	健康科学特論	○		
1150	医療経済特論	○		
1160	臨床薬理学	○		
1170	医療英語	○		○
1180	医療看護学特別講義	○		
1190	リサーチトピックス - M	○		
2011	看護教育学特論 I (基礎・継続教育)		○	
2012	看護教育学特論 II (CNS)		○	
2013	看護技術開発学特論		○	
2021	看護管理学特論 I (看護管理論)		○	
2022	看護管理学特論 II (人的資源管理論)		○	
2030	フィジカルアセスメント特論		○	
2151	慢性看護学特論 I (慢性病看護論)		○	
2152	慢性看護学特論 II (慢性病療養支援論A)		○	
2153	慢性看護学特論 III (慢性病療養支援論B)		○	
2154	慢性看護学特論 IV (慢性病療養システム論)		○	
2155	慢性看護学特論 V (慢性病病態・治療論)		○	
2046	慢性看護学実習 I (CNS役割実習)		○	○
2047	慢性看護学実習 II (診断・治療実習)		○	○
2048	慢性看護学実習 III (統合実習)		○	○
2051	ウイメンズヘルス看護学特論 I (ウイメンズヘルス概論)		○	
2052	ウイメンズヘルス看護学特論 II (周産期ケア概論)		○	
2053	ウイメンズヘルス看護学特論 III (ウイメンズヘルスケア概論)		○	
2054	ウイメンズヘルス看護学特論 IV (女性のヘルスプロモーション)		○	
2055	ウイメンズヘルス看護学特論 V (ウイメンズヘルスケアシステム論)		○	
2056	ウイメンズヘルス看護学実習 I (CNS役割実習)		○	○
2057	ウイメンズヘルス看護学実習 II (女性の健康問題支援実習)		○	○
2058	ウイメンズヘルス看護学実習 III (統合実習)		○	○
2061	小児看護学特論 I (小児看護対象論)		○	
2062	小児看護学特論 II (小児サポートシステム論)		○	
2063	小児看護学特論 III (小児援助方法論)		○	
2064	小児看護学特論 IV (小児高度看護実践論)		○	
2065	小児看護学特論 V (小児疾病病態論)		○	
2066	小児看護学実習 I (CNS役割・機能実習)		○	○
2067	小児看護学実習 II (小児診断・治療実習)		○	○
2068	小児看護学実習 III (統合実習)		○	○
2071	地域看護学特論 I (公衆衛生看護学原論)		○	
2072	地域看護学特論 II (公衆衛生看護学活動論)		○	

コード	授業科目	特に該当するディプロマポリシー		
		1.看護学の専門分野に関する研究に高い倫理観をもって取り組む研究能力	2.高度な専門性を発揮するために必要な広範な知識を体系化し、質の高い看護ケアが実践できる能力	3.高度な看護実践、研究・教育活動を通して国際的・社会的に貢献できる能力
2081	在宅看護学特論Ⅰ(在宅ケアマネジメント論)		○	
2082	在宅看護学特論Ⅱ(在宅看護アセスメント論)		○	
2083	在宅看護学特論Ⅲ(在宅看護援助論)		○	
2084	在宅看護学特論Ⅳ(在宅医療ケア論)		○	
2085	在宅看護学特論Ⅴ(訪問看護管理論)		○	
2086	在宅看護学実習Ⅰ(在宅ケアマネジメント実習)		○	○
2087	在宅看護学実習Ⅱ(在宅高度実践看護実習)		○	○
2088	在宅看護学実習Ⅲ(訪問看護管理実習)		○	○
2091	精神看護学特論Ⅰ(精神医療福祉論)		○	
2092	精神看護学特論Ⅱ(精神評価方法論)		○	
2093	精神看護学特論Ⅲ(治療方法論)		○	
2094	精神看護学特論Ⅳ(援助支援論)		○	
2095	精神看護学特論Ⅴ(リエゾン精神看護論)		○	
2096	精神看護学実習Ⅰ(役割実習)		○	○
2097	精神看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)		○	○
2098	精神看護学実習Ⅲ(統合実習)		○	○
2101	がん看護学特論Ⅰ(がん病態看護論)		○	
2102	がん看護学特論Ⅱ(がん看護理論)		○	
2103	がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)		○	
2104	がん看護学特論Ⅳ(がん薬物療法看護論)		○	
2105	がん看護学特論Ⅴ(がん緩和ケア論)		○	
2106	がん看護学実習Ⅰ(CNS役割実習)		○	○
2107	がん看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)		○	○
2108	がん看護学実習Ⅲ(統合実習)		○	○
2111	感染看護学特論Ⅰ(感染症制御論)		○	
2112	感染看護学特論Ⅱ(感染予防・マネジメント論)		○	
2113	感染看護学特論Ⅲ(感染症診断・病態論)		○	
2114	感染看護学特論Ⅳ(感染症看護支援論)		○	
2115	感染看護学特論Ⅴ(感染症制御システム論)		○	
2116	感染看護学実習Ⅰ(感染看護高度実践/感染対策室実習)		○	○
2117	感染看護学実習Ⅱ(感染症診断実習)		○	○
2118	感染看護学実習Ⅲ(地域感染予防実習)		○	○
2121	高齢者看護学特論Ⅰ(高齢者看護学原論)		○	
2122	高齢者看護学特論Ⅱ(アセスメント論)		○	
2123	高齢者看護学特論Ⅲ(支援システム論)		○	
2124	高齢者看護学特論Ⅳ(急性期ケア論)		○	
2125	高齢者看護学特論Ⅴ(認知症看護論)		○	
2126	高齢者看護学実習Ⅰ(認知症看護実習)		○	○
2127	高齢者看護学実習Ⅱ(急性期看護実習)		○	○
2141	クリティカルケア看護学特論Ⅰ(対象論)		○	
2142	クリティカルケア看護学特論Ⅱ(アセスメント論)		○	
2143	クリティカルケア看護学特論Ⅲ(治療管理論)		○	
2144	クリティカルケア看護学特論Ⅳ(看護援助論A)		○	
2145	クリティカルケア看護学特論Ⅴ(看護援助論B)		○	
2146	クリティカルケア看護学実習Ⅰ(実践実習)		○	○
2147	クリティカルケア看護学実習Ⅱ(統合実習)		○	○
3000~3130	演習			○
4000	特別研究	○		○
4040~4130	課題研究	○		○

高度実践看護師（専門看護師）認定試験受験を希望する者の履修について

1. 履修する科目

本課程修了後、専門看護師認定試験受験を希望する者は、本課程の修了要件を満たすとともに、以下の所定科目を修得しなければならない。（履修モデル参照、（ ）内の単位数は日本看護系大学協議会専門看護師教育課程認定委員会による認定単位数）

(1) 共通科目 A（計 8 単位）

- ① 看護学研究方法論
- ② コンサルテーション論、看護行政政策論、看護理論特論、看護倫理特論、看護教育学特論Ⅱ（CNS）、看護管理学特論Ⅰ（看護管理論）のうちから 3 科目以上

(2) 共通科目 B（計 6 単位）

- ① 機能病態学特論
- ② 臨床薬理学
- ③ フィジカルアセスメント特論

(3) 専攻教育課程（計 24 単位）

- ・ 慢性看護
慢性看護学特論Ⅰ～Ⅴ、慢性看護学実習Ⅰ～Ⅲ、演習（慢性看護 CNS）
- ・ がん看護
がん看護学特論Ⅰ～Ⅴ、がん看護学実習Ⅰ～Ⅲ、演習（がん看護 CNS）
- ・ 感染看護
感染看護学特論Ⅰ～Ⅴ、感染看護学実習Ⅰ～Ⅲ、演習（感染看護 CNS）
- ・ 小児看護
小児看護学特論Ⅰ～Ⅴ、小児看護学実習Ⅰ～Ⅲ、演習（小児看護 CNS）
- ・ 精神看護
精神看護学特論Ⅰ～Ⅴ、精神看護学実習Ⅰ～Ⅲ、演習（精神看護 CNS）
- ・ 老年看護
高齢者看護学特論Ⅰ～Ⅴ、高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱ、演習（高齢者看護 CNS）
- ・ 母性看護
ウイメンズヘルス看護学特論Ⅰ～Ⅴ、ウイメンズヘルス看護学実習Ⅰ～Ⅲ、演習（ウイメンズヘルス看護 CNS）
- ・ 在宅看護
在宅看護学特論Ⅰ～Ⅴ、在宅看護学実習Ⅰ～Ⅲ、演習（在宅看護 CNS）
- ・ クリティカルケア看護
クリティカルケア看護学特論Ⅰ～Ⅴ、クリティカルケア看護学実習Ⅰ・Ⅱ、演習（急性・重症患者看護 CNS）

2. 履修指導の方針

特別研究にかえて課題研究を行う場合にも、研究指導は修士論文の指導に準ずる。課題研究指導教員は学生の研究課題を解明する過程を導く代わりに、主に実践フィールドを通して、研究課題を選び出す過程を導くことになり、課題の水準及び課題を追求するための研究方法等については、修士論文と同水準であることを指導のポイントにおく。

3. 単位修得証明書

専門看護師教育課程に相当する必修科目を履修した者に対しては、「専門看護師教育課程として認定された科目の履修証明書」を、申請により発行する。

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(慢性疾患看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 7-12 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: 慢性看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ (CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ (看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野 共通科目	1. 慢性病者の理解に関する科目	慢性看護学特論Ⅰ (慢性病看護論)	2	
	2. 慢性病者の査定に関する科目	演習 (慢性看護 CNS)	2	
		慢性看護学特論Ⅴ (慢性病病態・治療論)	1	
	3. 慢性病者への支援技術に関する科目	慢性看護学特論Ⅱ (慢性病療養支援論 A)	2	
		慢性看護学特論Ⅴ (慢性病病態・治療論)	1	
		演習 (慢性看護 CNS)	2	
	4. 制度や体制に関する科目	慢性看護学特論Ⅳ (慢性病療養システム論)	2	
5. 治療や療養を支える環境整備に関する科目	慢性看護学特論Ⅲ (慢性病療養支援論 B)	2		
	専攻分野共通科目単位数計			
実習科目	実習	慢性看護学実習Ⅰ (CNS 役割実習)	2	
		慢性看護学実習Ⅱ (診断・治療実習)	2	
		慢性看護学実習Ⅲ (統合実習)	6	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名:

印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(がん看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 1-31 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: がん看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ(CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野 共通科	1. がん看護に関する病態生理学	がん看護学特論Ⅰ(がん病態看護論)	2	
	2. がん看護に関する理論	がん看護学特論Ⅱ(がん看護理論)	2	
	3. がん看護に関する看護援助論	がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)	2	
	専攻分野共通科目単位数計			
専攻分野 専門科目	1. がん薬物療法看護	がん看護学特論Ⅳ(がん薬物療法看護論)	2	
		演習(がん看護 CNS)	2	
	2. 放射線療法看護			
	3. 幹細胞移植看護			
	4. がんリハビリテーション看護			
5. 緩和ケア	がん看護学特論Ⅴ(がん緩和ケア論)	2		
	演習(がん看護 CNS)	2		
6. がん予防・早期発見				
	専攻分野専門科目単位数計			
実習科目	実習	がん看護学実習Ⅰ(CNS 役割実習)	2	
		がん看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2	
		がん看護学実習Ⅲ(統合実習)	6	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名:

印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(感染症看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 9-10 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: 感染看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ(CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野 専門科目	1. 感染基礎に関する科目	感染看護学特論Ⅰ(感染症制御論)	1	
		演習(感染看護 CNS) ※感染看護学演習Ⅰ	1	
	2. 応用無菌法に関する科目	感染看護学特論Ⅱ(感染予防・マネジメント論)	1	
		演習(感染看護 CNS) ※感染看護学演習Ⅱ	1	
	3. 感染症の診断・医療処置に関する科目	感染看護学特論Ⅲ(感染症診断・病態論)	2	
		感染看護学特論Ⅳ(感染症看護支援論)	2	
	4. 感染症看護に関する科目	演習(感染看護 CNS) ※感染看護学演習Ⅱ	1	
		感染看護学特論Ⅰ(感染症制御論)	1	
	5. 感染防止法に関する科目	感染看護学特論Ⅱ(感染予防・マネジメント論)	1	
		感染看護学特論Ⅴ(感染症制御システム論)	2	
演習(感染看護 CNS) ※感染看護学演習Ⅰ		1		
専攻分野専門科目単位数計				
実習科目	実習	感染看護学実習Ⅰ(感染看護高度実践/感染対策室実習)	6	
		感染看護学実習Ⅱ(感染症診断実習)	2	
		感染看護学実習Ⅲ(地域感染予防実習)	2	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名: _____ 印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(小児看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 5-26 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: 小児看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ(CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野 共通科目	1. 小児・家族の成長・発達／健康生活に関する科目	小児看護学特論Ⅰ(小児看護対象論)	2	
	2. 小児看護対象の査定に関する科目	演習(小児看護 CNS)	2	
	3. 小児の病態・治療に関する科目	小児看護学特論Ⅴ(小児疾病病態論)	2	
		演習(小児看護 CNS)	2	
	4. 小児看護援助の方法に関する科目	小児看護学特論Ⅲ(小児援助方法論)	2	
		小児看護学特論Ⅳ(小児高度看護実践論)	2	
5. 小児の保健／医療環境／制度に関する科目	小児看護学特論Ⅱ(小児サポートシステム論)	2		
	専攻分野共通科目単位数計			
専攻分野 専門科目	1. 専門領域に関する科目 ＜各大学で専門領域を提示する＞			
	専攻分野専門科目単位数計			
実習科目	実習	小児看護学実習Ⅰ(CNS 役割・機能実習)	2	
	1. 小児の診断・治療に関わる実習科目	小児看護学実習Ⅱ(小児診断・治療実習)	2	
	2. 高度実践者としての役割に関する実習科目	小児看護学実習Ⅲ(統合実習)	6	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名:

印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(精神看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 2-25 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: 精神看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ(CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野 共通科目	1. 歴史・法制度に関する科目	精神看護学特論Ⅰ(精神医療福祉論)	2	
	2. 精神・身体状態の評価に関する科目	精神看護学特論Ⅱ(精神評価方法論)	2	
	3. 精神科治療技法に関する科目	精神看護学特論Ⅲ(治療方法論)	2	
		演習(精神看護 CNS)	2	
	4. 精神看護理論、援助技法に関する科目	精神看護学特論Ⅳ(援助支援論)	2	
演習(精神看護 CNS)		2		
	専攻分野共通科目単位数計			
専攻分野 専門科目	1. 救急・急性期精神看護			
	2. 慢性期精神看護			
	3. 依存症看護			
	4. 児童・思春期精神看護			
	5. 精神訪問看護			
	6. 地域精神看護			
	7. 認知症看護			
	8. リエゾン精神看護	精神看護学特論Ⅴ(リエゾン精神看護論)	2	
	9. その他の精神看護			
	専攻分野専門科目単位数計			
実習科目	実習	精神看護学実習Ⅰ(役割実習)	1	
		精神看護学実習Ⅱ(診断・治療実習)	2	
		精神看護学実習Ⅲ(統合実習)	7	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名:

印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(老人看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 4-26 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: 老年看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ (CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ (看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野共通科目	1. 老年看護の基盤となる科目	高齢者看護学特論Ⅰ (高齢者看護学原論)	2	
	2. 高齢者の健康生活評価に関する科目	高齢者看護学特論Ⅱ (アセスメント論)	2	
	3. 老年期の疾患と検査、治療に関する科目	演習 (高齢者看護 CNS)	2	
	4. 高齢者と家族への看護実践に関する科目	演習 (高齢者看護 CNS)	2	
	5. 高齢者保健医療福祉政策とサポートシステムに関する科目	高齢者看護学特論Ⅲ (支援システム論)	2	
	専攻分野共通科目単位数計			
専攻分野専門科目	1. 急性期における老年看護に関する科目	高齢者看護学特論Ⅳ (急性期ケア論)	2	
	2. 慢性期における老年看護に関する科目			
	3. 在宅における老年看護に関する科目			
	4. 高齢者ケア施設における老年看護に関する科目			
	5. 認知症老年看護に関する科目	高齢者看護学特論Ⅴ (認知症看護論)	2	
	6. 終末期における老年看護に関する科目			
	専攻分野専門科目単位数計			
実習科目	実習	高齢者看護学実習Ⅰ (認知症看護実習)	6	
		高齢者看護学実習Ⅱ (急性期看護実習)	4	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名:

印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(母性看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 6-21 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: 母性看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ(CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野 共通科目	1. 対象理解に関する科目	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅰ(ウイメンズヘルス概論)	2	
	2. 周産期にある母子の援助に関する科目	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅱ(周産期ケア概論)	2	
	3. 女性のライフサイクル全般にわたる援助に関する科目	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅲ(ウイメンズヘルスケア概論)	2	
	専攻分野共通科目単位数計			
専攻分野 専門科目	1. 周産期母子援助に関する科目	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅳ(女性のヘルスパromotion)	2	
	2. 女性の健康への援助に関する科目	ウイメンズヘルス看護学特論Ⅴ(ウイメンズヘルスケアシステム論)	2	
		演習(ウイメンズヘルス看護 CNS)	4	
	専攻分野専門科目単位数計			
実習科目	実習	ウイメンズヘルス看護学実習Ⅰ(CNS 役割実習)	2	
		ウイメンズヘルス看護学実習Ⅱ(女性の健康問題支援実習)	4	
		ウイメンズヘルス看護学実習Ⅲ(統合実習)	4	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名:

印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(在宅看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 11-13 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: 在宅看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論Ⅱ(CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論Ⅰ(看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野 共通科目	1. 保健医療福祉の制度・体制および ケアマネジメントに関する科目	在宅看護学特論Ⅰ(在宅ケアマネジメント論)	2	
	2. 在宅療養者・家族の健康と生活の アセスメントに関する科目	在宅看護学特論Ⅱ(在宅看護アセスメント論)	2	
	3. 在宅看護援助方法に関する科目	在宅看護学特論Ⅲ(在宅看護援助論)	2	
	4. 在宅療養者の疾患と検査、治療に関する科目	在宅看護学特論Ⅳ(在宅医療ケア論)	2	
	5. 訪問看護ステーション等の開設、管理・運営、 ケアの質改善に関する科目	在宅看護学特論Ⅴ(訪問看護管理論)	2	
	専攻分野共通科目単位数計			
専攻分野 専門科目	1. 自立促進に関する看護			
	2. 医療的ケアに関する看護	演習(在宅看護 CNS)	2	
	3. 多問題・困難課題に関する看護			
	4. 終末期ケアに関する看護	演習(在宅看護 CNS)	2	
	専攻分野専門科目単位数計			
実習科目	実習	在宅看護学実習Ⅰ(在宅ケアマネジメント実習)	2	
		在宅看護学実習Ⅱ(在宅高度実践看護実習)	6	
		在宅看護学実習Ⅲ(訪問看護管理実習)	2	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名: _____ 印

専門看護師教育課程基準単位取得証明書(急性・重症患者看護 38 単位)

氏名: _____

教育課程の番号: 8-35 教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

教育課程名: クリティカルケア看護 CNS コース

入学年度: XXXX 年度 修了年度: XXXX 年度

	日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程基準の科目名	大学院該当科目名	取得 単位数	取得 年度
共通科目 A	1. 看護教育論	看護教育学特論 II (CNS)	2	
	2. 看護管理論	看護管理学特論 I (看護管理論)	2	
	3. 看護理論	看護理論特論	2	
	4. 看護研究	看護学研究方法論	2	
	5. コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
	6. 看護倫理	看護倫理特論	2	
	7. 看護政策論	看護行政政策論	2	
	共通科目 A 単位数計			
共通科目 B	1. 臨床薬理学	臨床薬理学	2	
	2. フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメント特論	2	
	3. 病態生理学	機能病態学特論	2	
	共通科目 B 単位数計			
専攻分野共通科目	1. 人間存在に関する科目			
	2. 危機とストレスに関する科目	クリティカルケア看護学特論 I (対象論)	2	
	3. クリティカル状況でのフィジカルアセスメントに関する科目	クリティカルケア看護学特論 II (アセスメント論)	2	
	4. 重症患者の代謝病態生理学に関する科目			
	5. クリティカルケア治療管理に関する科目	クリティカルケア看護学特論 III (治療管理論)	2	
	専攻分野共通科目単位数計			
専攻分野専門科目	1. クリティカルケア看護援助に関する科目 I	クリティカルケア看護学特論 IV (看護援助論 A)	2	
	2. クリティカルケア看護援助に関する科目 II	演習(急性・重症患者看護 CNS)-演習 2	2	
	3. クリティカルケア看護援助に関する科目 III	演習(急性・重症患者看護 CNS)-演習 1	2	
	4. クリティカルケア看護援助に関する科目 IV	クリティカルケア看護学特論 V (看護援助論 B)	2	
	専攻分野専門科目単位数計			
実習科目	クリティカルケア看護実習	クリティカルケア看護学実習 I (実践実習)	2	
		クリティカルケア看護学実習 II (総合実習)	8	
	実習単位数計			
	取得単位数合計			

上記のとおり専門看護師教育課程の所定の単位を取得したことを証明します。

XXXX 年 XX 月 XX 日

教育機関名: 順天堂大学大学院医療看護学研究科

職位: 研究科長

氏名:

印

2021年度 博士前期課程 学位申請の手引き

【学位取得までの流れ】

<1年次>

2021年10月 1日(金) …… 研究計画書 受付開始

↓

2022年 3月31日(木) …… 研究進捗状況報告書・次年度研究指導計画書 提出期限

<2年次>

2021年 5月12日(水) …… 研究計画書 提出期限

↓

2021年 5月29日(土) …… 研究計画発表会

↓

2021年 6月 2日(水) …… 論文審査委員希望届 提出期限

↓

2022年 1月 5日(水)

16時まで …… 学位論文審査願および修士論文 第一次提出期限

↓

2022年 1月 6日(木)～

2022年 1月31日(月) …… 主査・副査による指導期間

↓

2022年 2月 1日(火)

16時まで …… 修士論文 最終提出期限

↓

2022年 2月 3日(木)～

2022年 2月28日(月) …… 口頭試問期間

↓

2022年 3月 2日(水) …… 最終審査会(研究科委員会)にて学位取得者決定

↓

2022年 3月 8日(火) …… 修士論文発表会 開催

※各予定については、都合により変更される場合があるため、事前に浦安キャンパス事務室にて確認する。

【研究計画書の提出】

1年次≪2021年10月 1日(金) 受付開始≫

2年次≪2021年 5月12日(水) 提出期限≫

研究科委員会開催日(原則、8月以外の毎月第2または第3水曜日)の1週間前までの提出は当月審査とし、毎月それ以降の提出は翌月審査とする。(提出先:浦安キャンパス事務室 受付時間:各日9時～17時)研究科委員会での「研究計画書」の審議に際しては、審議対象大学院生の出席が必要となるため、上記日程に留意する。

研究計画書は、問題の起案とそれに至った根拠、研究方法等を所定の用紙3枚程度にまとめ、表紙を付けたものとする。

- ・1部を市販のA4版クリアファイルに入れ、綴じずに片面印刷にて提出。
- ・研究計画書書式に従いA4版で作成。(表紙は様式M-1)
- ・学位論文の書式を遵守。
- ・論文表題は日本語ならびに英語表記を記載。

【倫理審査】

研究科委員会にて合格とされ倫理審査が不要な研究計画書は、研究科委員会で承認された日から研究を開始することができる。

研究科委員会で倫理審査が必要とされた研究計画書は、研究等倫理委員会に速やかに倫理申請書を提出する。研究等倫理委員会で審議され、研究科長より「申請を承認する」旨の倫理審査結果通知書の交付を受けた時から研究を開始することができる。

研究科委員会で一部修正の上、承認とされた研究計画書は、修正箇所を対比表等により明示したものを研究科長に提出(事務室経由)し、その承認を受けた後、倫理審査が必要な場合は研究等倫理委員会に倫理申請書を提出し、不要な場合はその日から研究を開始することができる。

なお倫理審査を申請時、APRINのe-learning修了証が必要なため、事前に受講しておく。(詳細は別途掲示)

【研究進捗状況報告書・次年度研究指導計画書】

修士論文提出年(原則2年次)を除く毎年度末(3月末)までに「研究進捗状況報告書・次年度研究指導計画書(様式M-2)」を研究科委員会に提出する。(提出先:浦安キャンパス事務室)

報告書は研究の進捗状況と今後の研究の進め方、自己評価からなるものとし、記入にあたっては必ず研究指導教員からの指導を受ける。

【研究計画発表会】

≪2021年5月29日(土)≫

研究科委員会において承認された研究計画を発表会として行い、その後の研究(修士論文)に関する指導・助言を得ることで、研究活動の充実を図る。

場所:浦安キャンパス(予定)

方法:スライドを用いた発表を5分、質疑応答を2分とし、1人あたり計7分とする。

【論文審査委員希望届】

≪2021年6月2日(水)17時までに浦安キャンパス事務室へ提出≫

論文審査委員希望届(様式M-3)に従い記入する。

主査:研究指導教員以外の他分野の研究指導資格教員に限る。分野は問わない。

副査:大学院担当教員及び論文指導教員とする。分野は問わない。

【修士論文第一次提出】

≪2022年1月5日(水)16時までに浦安キャンパス事務室へ提出≫

- ・学位論文審査願 1部 (様式M-4)
- ・学位論文審査手数料 5万円 (期日までに浦安キャンパスの自動発行機にて支払う)
- ・学位論文 3部 (表紙:様式M-5)
- ・学位論文要旨(論文に含む) 3部 (様式M-6)
- ・参考論文(必要な場合) 3部

学位論文3部ならびに学位論文要旨3部はA4-S版ファイル(色はピンク)に綴じて提出。ファイル表面に表紙を貼付。なお、審査委員欄はすべて審査委員名を記載する。

【主査・副査による審査・指導期間】

《2022年1月6日(木)～2022年1月31日(月)》

主査・副査より一次提出時の修士論文についての指導を受け、その指導を基に必要があれば修正し最終提出の修士論文を作成する。

【修士論文最終提出】

《2022年2月1日(火)16時までに浦安キャンパス事務室へ提出》

- ・学位論文(紙媒体) 4部(うち1部は穴を開けず審査委員欄を空欄にして提出)
- ・学位論文(電子媒体) 1部
- ・学位論文要旨(論文に含む) 4部
- ・参考論文(必要な場合) 4部
- ・論文テーマ変更届 1部(様式M-7 最終テーマが計画書テーマと相違する場合)

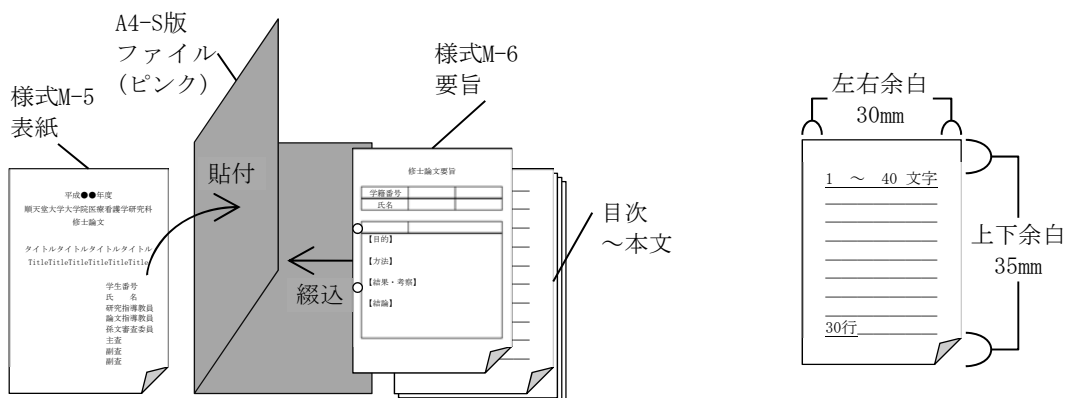
学位論文3部ならびに学位論文要旨3部は、第一次提出時に使用したファイルを論文審査委員より返却してもらい再利用することも可能。表紙の審査委員欄には主査・副査名を明記する。

残りの学位論文1部ならびに学位論文要旨1部は、穴を開けずに市販のクリアファイルに入れて提出(大学保存用)。なお、大学保存用の学位論文表紙の**審査委員欄は空欄**とする(審査終了後、審査委員の署名を行うため)。

その他に学位論文要旨および学位論文1部を保管した電子媒体を提出する。提出された電子媒体は原則返却しない。

< 修士論文作成要領 >

- ・使用言語は日本語または英語とし、パソコンを用いて作成する。
 - ・研究指導教員と密に相談をしながら作成する。
 - ・項目区分の見出しは、原則として以下のようにする。
【要旨】→【目次】→【序論】→【方法】→【結果】→【考察】→【結論】→【謝辞】→【引用文献】
→【図表】→【資料】
ただし、各専門領域の学会刊行誌等に準拠してもよい。
 - ・日本語で論文を作成した場合は英文タイトルを、英語の場合は和文タイトルを記載する。
 - ・用紙はA4版の白色上質紙を用いて片面印刷、縦置き横書き、1行40文字、1頁30行とする。
上下35mm、左右30mmの余白をとり、下余白中央部分に頁番号をふる。
(頁番号をふるのは序論からとする。)
 - ・1頁目を所定の表紙、2頁目を目次、その次から本文とする。(本文は【序論】から【図表】までとし、60枚以内とする。)
- 学術記号等の記載にあたっては、各専門領域の学会学術雑誌の規定に準拠して良い。
- (注)・文献は、原則として医療看護研究誌に準拠して表記する。
- ・見出しは、章【Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・…】、節【1・2・3・…】、項【(1)・(2)・(3)・…】、項の下は【(1)・(2)・(3)・…】で記載する。



<修士論文要旨作成要領>

- ・800字以内とし、項目は【目的】→【方法】→【結果・考察】→【結論】の順とする。
- ・用紙はA4版の白色上質紙を用いる。上下35mm、左右30mmの余白を取る。

<電子媒体作成要領>

- ・ワープロソフト（Word等）の保存形式はそれぞれの標準形式で保存し、Excel等で作成した図や表は本文中にレイアウトする。（できない場合は別ファイルとして保存）
- ・電子化されていないデータ（コピー機でコピーした図等）は、PDF化して本文中にレイアウトまたは、別ファイルとして保存する。
- ・電子媒体がCD-RまたはUSBメモリの場合は浦安キャンパス事務室まで持参する（提出された電子媒体は原則返却しない）。メールの場合は容量制限や誤送信に注意して事務室（j-nurse@juntendo.ac.jp）へ送付する。その他の場合は担当者に相談する。

【口頭試問】

《2022年2月3日（木）～2022年2月28日（月）》

主査・副査によって論文に関する口頭試問が行われる。1人約30分程度。公開で行い、傍聴は自由とする。ただし、傍聴を希望する場合は予め浦安キャンパス事務室に申請する。

【修士論文発表会】

《2022年3月8日（火）》

最終審査会において承認された修士論文を発表する。研究内容の集大成を発表する場であるが、発表会において交わされる質疑応答を通じて、今後の継続研究や課題等に関する指導・助言を得るものとする。

場所：浦安キャンパス（予定）

方法：スライドを用いた発表を10分、質疑応答を5分とし、1人あたり計15分とする。

【その他】

個人所蔵・配布用或いは主査贈呈用に、自分の論文だけの製本冊子作製を希望する場合は、学位授与認定後に自費で個別に学術メディアセンターへ依頼する。

【様式 M-1】

研究計画書書式

表紙 ※●●には特別/課題をそれぞれ記述

_____年度

順天堂大学大学院医療看護学研究科看護学専攻

修士論文研究計画書

(●●研究)

和文タイトル

英文タイトル

順天堂大学大学院 医療看護学研究科

学生番号 _____ 氏名 _____

研究指導教員 _____

論文指導教員 _____

【様式 M-2】

研究進捗状況報告書・次年度研究指導計画書 書式

順天堂大学大学院医療看護学研究科
研究進捗状況報告書・次年度研究指導計画書

[年 月 日 作成]

学籍番号		学生氏名 【 自 署 】	印
入学年度	年 4月	研究指導教員 【 自 署 】	印
研 究 進 捗 状 況	研究題目		
	研究の進捗状況		
	今後の研究の進め方		
	自己評価		
研 究 指 導 計 画	研究指導計画（研究指導教員記載欄）		
研究計画書審査	済 ・ 未	倫理審査	済 ・ 未 ・ 不要

※ 指導教員と相談の上、本用紙に記載し1年終了時まで提出してください。

※ 研究内容を変更した場合には、新しい計画に基づいて各種審査の必要性と状況を記載してください。

提出先：浦安キャンパス事務室

※修士論文提出年を除く、毎年度末提出すること。

【様式 M-3】

論文審査委員希望届 書式

研究科長 殿

大学院医療看護学研究科博士前期課程
論文審査委員希望届

主査教員名 _____
(研究指導教員以外の他分野の研究指導資格教員に限る。分野は問わない。)

副査教員名 _____
(大学院担当教員及び論文指導教員。分野は問わない。)

副査教員名 _____
(大学院担当教員及び論文指導教員。分野は問わない。)

上記の通り希望します。

年 月 日

研究指導教員 _____ ⑩

学生番号 _____ 番 氏名 _____

論文 題 名	
--------------	--

※上記論文テーマで登録後、変更がある場合には最終提出時「論文テーマ変更届」を提出すること。

提出期限： 6月第1水曜日 17時まで

【様式 M-4】

学位論文審査願書式

年 月 日

順天堂大学大学院医療看護学研究科長 殿

医療看護学研究科看護学専攻

学生番号

氏名

㊞

研究指導教員

㊞

学位論文審査願

このたび本学学位規程第5条第1項により修士（看護学）の学位を受けたいので、
下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますからご審査下さい。

記

- | | |
|-----------|------------|
| 1 学位論文 | 3部 |
| 2 論文要旨 | 3部 |
| 3 論文審査手数料 | 金 50,000 円 |

※参考論文は必要な場合のみ1部添付する。

【様式 M-5】

修士論文 表紙様式

※●●には特別/課題をそれぞれ記述

_____年度

順天堂大学大学院医療看護学研究科看護学専攻

修士論文

(●●研究)

和文タイトル

英文タイトル

学生番号

氏 名

研究指導教員

論文指導教員

論文審査委員

主 査 _____

副 査 _____

副 査 _____

【様式 M-6】

修士論文要旨書式

修士論文要旨

学 生 番 号		指 導 教 員 確 認	主 査	
氏 名			副 査	
			副 査	

学 位 論 文 名	
訳 タ イ ト ル	
論文内容の要旨 (800 字以内)	

- a. 800 字以内とし、項目は【目的】→【方法】→【結果・考察】→【結論】の順とする。
- b. 用紙は A4 版の白色上質紙を用いること。縦置き横書き、上下 35mm、左右 30mm の余白を取る。

【様式 M-7】

論文テーマ変更申請書書式

医療看護学研究科長 殿

大学院医療看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

論文テーマ変更申請書

旧テーマ	
新テーマ	

上記のとおり変更を申請いたしますのでご許可ください。

年 月 日

研究指導教員 _____ (印)

学生番号 _____ 氏名 _____ (印)

※最終論文テーマが研究計画書テーマと相違する場合のみ、最終論文提出時に提出。

